

2006年度日本トライボロジー学会「技術賞」の受賞について
～環境に優しい次世代エンジン油の開発が評価される～

当社(社長:西尾 進路)は、「ZDTP(ジアルキルジチオリン酸亜鉛)*1の代替技術による次世代超高性能エンジン油」の配合技術について、社団法人日本トライボロジー学会から2006年度「技術賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

社団法人日本トライボロジー学会は、トライボロジー(摩擦する表面と潤滑に関係する科学技術)に関する研究の促進を図り、技術の向上に寄与することを目的に、1956年に設立されました。技術賞は、トライボロジー分野において、独創性、新規性、品質、性能の優秀性が認められ、今後の社会貢献が期待できる新製品・新技術に与えられる賞で、今回は当社を含めて3件が受賞しました。

エンジン油には半世紀以上にわたり、ZDTPが主要添加剤として使用されていますが、当社は、この添加剤に含まれる硫黄(サルファー)分がエンジン油の環境性能に悪影響を及ぼすことを見出しました。

そこで、当社は新たにサルファーフリーの添加剤であるZP(アルキルリン酸亜鉛)*2を開発しました。これは、従来の添加剤よりも、エンジン油の長寿命化、自動車の省燃費性向上、排出ガス浄化装置の性能低下抑制などに効果が高く、自動車の環境性能向上に大きく貢献いたします。

今回は、このZP添加剤を用いた高性能次世代エンジン油の開発における当社の実績を高く評価していただき、技術賞の受賞となりました。次世代エンジン油は、すでにコジェネ機器のエンジン用潤滑油として商品化されておりますが、今後は自動車用エンジン油でも商品化を進めてまいります。

当社は、行動指針として「New ideas(新しい発想)」、「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げており、今後もたえず新しい発想で未来に挑戦し、地球環境と調和したビジネスを創造することで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指してまいります。

*1 摩耗防止剤、酸化防止剤として機能する潤滑油用添加剤。

*2 当社が新たに開発した、ZDTPに含まれる硫黄を酸素に置き換えたサルファーフリー添加剤。

記

1. 受賞対象:「ZDTP代替技術による次世代超高性能エンジン油」
2. 受賞者:
小宮 健一(中央技術研究所 潤滑油研究所 輸送用潤滑油グループマネージャー)
八木下 和宏(中央技術研究所 潤滑油研究所)
矢口 彰(" ")
松井 茂樹(" ")

以上